

内丸地区再整備に向けた(仮称)内丸プラン策定の進め方等について

令和4年9月12日
都市整備部

1 趣旨

内丸地区将来ビジョン(令和4年3月策定、以下「ビジョン」という。)の実現に向けて、令和4年度から取り組む内丸地区再整備に向けた(仮称)内丸プランの策定の進め方等を報告するものである。

2 全体の検討体制

ビジョンの実現には、一団地の官公庁施設を中心に一体的な整備を図る必要があり、令和4年度から新たな検討体制を整え、再整備の基本的な方向性(土地利用、交通、都市空間デザイン等)を検討し、具体的な事業手法等を盛り込んだ(仮称)内丸プランをとりまとめる。

なお、(仮称)内丸プランの検討においては、新市庁舎整備基本構想の検討と並行して進め、相互に連携を図りながら進める。

3 各会議体等の概要

① 内丸地区再整備検討懇話会〔2回開催、公開〕

内丸地区将来ビジョン懇話会の委員(16人)で構成し、全体の進め方及び再整備の方向性について、共通認識を得て地区の一体的整備の機運醸成を図る。

【第1回懇話会の概要】

(仮称)内丸プラン策定の進め方(検討体制及びスケジュール)及び方向性等について意見交換を行い、各委員からは、次のように(仮称)内丸プランに期待する意見が多くあった。

- ・100年後の盛岡を見据えたプランを検討したい。
- ・現状把握を十分に行った上で検討を進めてほしい。
- ・専門家や市民の意見を取り入れた柔軟性のあるプランとしたい。
- ・内丸地区に多くの業種が集約していることは、盛岡らしさであり、地域の強みであることから、これらを繋げていきたい。
- ・今回の検討に合わせて施設の更新等を考えていきたい。
- ・盛岡市民のまちづくりに対する高い参加意欲と潜在能力を引き出して議論を進めたい。

② 内丸地区再整備検討会議(実務者会議)〔4回開催、非公開〕

一団地の官公庁施設及び周辺を更新が見込まれる各施設の管理者等の参画により、各施設の課題や意向などを把握しながら検討を進め、一体的整備の実現性を高める。

③ 内丸地区再整備学識検討会議（有識者会議）〔4回開催、非公開〕

都市計画、都市交通、都市景観及び都市経済の各観点から、専門的に検討する。

分野	所属・職名	氏名
都市計画	国立大学法人岩手大学 理工学部 教授	南 正 昭
都市交通	学校法人早稲田大学 理工学術院創造理工学部 教授	森 本 章 倫
都市景観	株式会社上條・福島都市設計事務所 共同主宰 国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科 客員連携研究員	福 島 秀 哉
都市経済	公立大学法人岩手県立大学 総合政策学部 准教授	近 藤 信 一

④（仮称）内丸地区市民ミニサロン〔4回開催、公開〕

各回テーマを決め、ミニ講演会等を実施し、内丸地区再整備の機運を醸成する。

4 スケジュール

令和4年8月17日	・内丸地区再整備検討懇話会（第1回）
令和4年8月25日	・内丸地区再整備学識検討会議（第1回）
令和4年8月29日	・内丸地区再整備検討会議（第1回）
令和4年9月12日	・全員協議会
令和5年3月まで	・（仮称）内丸地区市民ミニサロン ・内丸地区再整備検討会議 ・内丸地区再整備学識検討会議 ・内丸地区再整備検討懇話会（中間とりまとめ）
令和5年度～	・合意形成（事業化手法の検討、庁内外の合意、計画策定、事業化に向けた検討）

【参考】内丸地区再整備に向けた(仮称)内丸プラン策定の検討体制イメージ図

